

実行プラン検討表

資料3

方策1 地域農産物を活かした農業の充実

具体的な取り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール		
		3年後までに	5年後までに	10年後までに
6次産業化の推進	米、ゆず、いちご、トマト、玉ねぎなど差別化を図り、付加価値の高い農産物を生産するとともに、地域ブランド化を図るために加工、販売を手がけ、サービスエリアなどでの販路の充実や契約先を拡大させるなど、6次産業化の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農産物のブランド化推進体制（農業法人化の検討を含む）の確立</li> <li>・農産物の選定（米、ゆず、いちご、トマト、玉ねぎ等）</li> <li>・量産化するための農地確保</li> <li>・付加価値の高い商品の開発</li> <li>・担い手（後継者）の確保、育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上河内サービスエリア等による販路拡大</li> <li>・普及促進のための研修（6次産業化に向けた理解度の充実）</li> <li>・6次産業化の組織づくりの推進（個人、法人、地域企業との連携）</li> <li>・製造業、流通業との連携強化</li> <li>・加工・販売施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド品を活用した農村レストランの開設</li> <li>・6次産業化の推進</li> <li>・消費者ニーズに対応した商品開発とブランド化</li> </ul>
貸し農園の拡充		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地（農園）確保</li> <li>・事業窓口の確立</li> <li>・利用者の募集</li> <li>・栽培方法などの指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸し農園の確立</li> <li>・新規就農希望者への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の確保</li> </ul>
ゆずやいちごの観光農園の拡大		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちご狩り農園の確保</li> <li>・いちごマップの作成</li> <li>・26軒あるいちご農家とJAとの連携強化</li> <li>・現在あるゆず園の有効活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆずやいちごの量産化</li> <li>・商品化するための地域業者との連携</li> <li>・地域内外のPR強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口の増大</li> </ul>
地域の観光資源（梵天の湯等）を活用した観光農園の開設		<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉熱を利用した農業の勉強会の開催</li> <li>・園芸作物の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備</li> <li>・園芸作物の栽培</li> <li>・収穫体験の実施</li> <li>・地域内外のPR強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉熱を利用した新たな園芸作物の開発</li> </ul>

## 実行プラン検討表

### 方策2 地域資源を活かした観光の推進

具体的な取り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール		
		3年後までに	5年後までに	10年後までに
羽黒山を核とする地域資源を活かした観光振興と民間の観光施設との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>観光コースの設定や観光マップの作成</li> <li>観光施設の現状報告（あまり知られていない）</li> <li>標識充実</li> <li>案内所の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等による観光情報の発信</li> <li>緑水公園の再開発</li> <li>鬼怒川河川敷の有効活用（スポーツ、その他）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内所を兼ねた道の駅の開発</li> <li>道路の拡幅などのインフラ整備</li> </ul>
サイクリングコース設定による交流人口の増加	山田川サイクリングロードなどを整備し、ターミナルを設置する。PRを強化して、交流人口を増加させ、ロードレースを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリングコースの設定</li> <li>サイクリングコースの整備（ロード路肩を花で飾る）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の発信</li> <li>サイクリングターミナルの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクルロードレースの誘致</li> </ul>

※   は行政に望むもの。他は、主に地域団体が取り組むもの。

## 実行プラン検討表

### 方策3 地域内道路網の整備と地域内交通の利用推進

具体的な取り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール		
		3年後までに	5年後までに	10年後までに
安全性を確保するための道路の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートIC周辺の歩道の整備</li> <li>・パトロール隊（行政、交通安全、PTAなど）集結させた組織づくり</li> <li>・窓口（情報確保）の設置</li> <li>・道路の危険箇所の情報を集める</li> <li>・ガードレールの設置（交通量が多くなるための安全確保）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の道路の整備</li> </ul>
利用者ニーズにあった公共交通の改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域路線バスの利便性向上について検討（料金体系、運行時刻などの見直し）</li> <li>・デマンドタクシー利用登録者の確保</li> <li>・地域のイベントごとに、デマンドタクシーの宣伝を多くする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域外へ乗り継ぎを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドタクシーの各地域とのネットワークの確立（相互乗り入れの実施）</li> </ul>

※   は行政に望むもの。他は、主に地域団体が取り組むもの。

<参考>  
 デマンドタクシーの利用登録世帯数の目標  
 自治会加入世帯数の20%  
 平成26年9月現在  
 ・自治会加入世帯数 2,595世帯  
 ・登録世帯数 389世帯